

青春18きっぷでエコな旅に出よう!

毎年春、夏、冬に発売される「青春18きっぷ」。

¥11,850でJR線の普通列車・快速列車が5日(回)乗り放題です。1人で5日間の旅に出かけることも、5人で日帰り旅行に出かけることも可能です。

「きらきらうえつ」「SLばんえつ物語」などは快速列車なので、指定券を買い足せば乗車可能ですし、新潟発5:17の始発に乗って、4回乗り換えれば、東京に12:06に到着することも可能です。

この夏は、マイカーよりもエコな「列車の旅」を家族で楽しんでみてはいかがでしょうか?

夏の「青春18きっぷ」。有効期間は7月20日～9月10日までです。ちなみに年齢制限はありません!

「Eco列車でいこう!」～第97回～ 六角精児バンド「只見線のうた」

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!) 

7月15日(土)。福島県只見町で行われる六角精児バンドの「只見線のうた」発売記念ライブを見に行く。

本来であればJRを乗り継いでいくべきところだが、時間の関係で止む無くマイカーで出発。国道49号の「新横雲橋」を渡ってすぐに右折。阿賀野川沿いを「安田」までショートカット。再び49号に戻り、「阿賀町」を抜け、「鳥井峠」を経由して、福島県「西会津町」へ。国道400号に入り「三島町」、252号で「只見町」に入った。

只見線は平成23年の「新潟福島豪雨」で「只見～会津川口間」の鉄橋などが流出。過疎地域を走るため廃止が検討されたが、地元自治体が路線を管理する「上下分離方式」で平成33年頃に復活することが決まった。

鉄道好きの俳優六角精児氏が只見線を応援するために「只見線のうた」を発表し、無料でライブが開かれることになった。その気持ちがうれしいし、生歌を聞きたくなって、3時間かけて只見町に来たのだ。

ライブ会場の「季の里湯ら里」は温泉施設。宴会場のようなところでライブが開催される。

会場に入ると、老若男女100名くらいが待っていた。11時開演。女性シンガソングライターの「宏菜」さんののびやかな声で「只見線に乗ろうよ」などを熱唱。下北沢を中心に活動している素敵な女性である。

続いてお待ちかね「六角精児バンド」の登場。ボーカル&ギター、ギター、ベース、パーカッションの本格的な4ピースバンドだ。「只見線のうた」をはじめ、沢田研二の「時の過ぎゆくままに」など10曲を演奏。六角さんの飾らないトークも楽しく、「笑いあり、心にしみる歌あり」の楽しいライブだった。

国道252号で「田子倉ダム」を見学し、「守門」から290号で「栃尾」「下田」「加茂」を通過して帰途についた。

【只見線のうた 作詞・作曲/六角精児】

コトコト走る列車の窓から 心と眺めれば かなたに広がる心に響く日本の原風景
豊かな川や新緑の息吹 山の木もれ日は そこで営む人々をたくましく育む
都会の暮らしに傷付き疲れた人の心に そっと寄り添い生きる勇気と力をくれる
あぁ奥会津のライフライン その名も只見線

山間をいくディーゼルをが人と人をつなぐ
外で手を振る地域住民の姿も笑顔でつながる
ビルもないし なんにもないし 便利でもないけど
大地の恵みが何処にも負けない この宝物
時には自然がキバをむき 暮らしにのしかかる
思い通りにならないことに天を仰ぎ見る
頑張れ我らの未来をのせて走れ 只見線



あぁ奥会津のライフライン その名も只見線

【7月15日(土)】

新 潟	7:45
(西 会 津)	9:00
(会 津 川 口)	9:50
只 見	10:45
	13:15
(田子倉ダム)	14:00
(栃 尾)	15:00
(加 茂)	15:45
新 潟	16:30